

# 規模の異なる自治体における地方議会会議録の整文の比較

高丸圭一（宇都宮共和大学シティライフ学部）

## 1. はじめに

地方議会会議録は、都道府県または市町村議会における議員や首長、行政担当者などの発言の記録であり、特定の自治体に居住する者の発言が、地域別・年度別に記録されたものであると捉えることができる。一つの地方議会の会議録を遡れば通事的な言語変遷を辿ることができ、全国の地方議会会議録を横断的に調査すれば、地域差などを分析することができるため、言語資源として注目に値する。地方議会会議録を分析した社会言語学分野の研究に薄井(2005)などがある。地方議会会議録は、各自治体の議会事務局の Web サイトにて公開が進められており誰でも閲覧可能である。都道府県レベルでは、平成 20 年の段階で全国 47 都道府県議会すべてで、Web 公開されている(大山 2007)。市町村レベルについては全数の把握はできていないものの、市ではかなり公開が進んでいる。例えば、栃木県では 14 の市のうち 13 市と、13 の町のうち 8 町の議会会議録が Web に公開されている(高丸・木村 2010)。地方議会会議録は、言語研究のみならず、政治学、自然言語処理(木村・渋木・高丸 2009)等の様々な研究分野で利用すべき資源であるが、自治体ごとに個別に提供されているため、全国を網羅した横断的な分析・調査に利用することは困難である。このため現在、学際的な分野において地方議会会議録を活用するためのコーパス作成に取り組んでいる。

会議録は言語研究の資源のために用意されたものではないため、発言を忠実に記録するのではなく、読みやすさ等の観点から様々な修正(整文)が行われていることが知られている。国会会議録に関する整文の実態については松田ら(2005; 2010 pp.33-62)に述べられている。地方議会会議録については、議会事務担当者向けの書籍(野村・鶴沼, 1996)に整文の指針が示されている。また、速記実務者向けには整文の手引書(日本速記協会 1997)が存在する。しかしながら、実際に各自治体がどのような基準で整文を行っているかは明らかではないため、整文前(議会での発言)と整文後(会議録)を比較して検討する必要がある。本研究の第一の目的は、地方議会会議録が作成される際に、どのような整文が行われているのかを分析することである。

松田(2010)によると、国会会議録において、衆議院と参議院の間で整文に違いがあることが指摘されている。自治体間では整文基準やその適用方法にさらに大きな差

異があることが予想される。複数の自治体の会議録を用いた比較研究などを行う場合、発言に対して異なる基準で整文された文書を対象にすることになる。本研究の第二の目的は、自治体間にどの程度の整文基準や整文方法の違いがあるのかを分析することである。

本稿では同一県内の規模の異なる自治体の地方議会会議録を対象として、整文の状況を調査し、自治体間での差異等を考察する。

## 2. 分析データと調査方法

### 2.1 分析データ

同一県内、具体的には栃木県内の自治体の地方議会会議録を比較する。栃木県内の自治体で議会会議録と議会議中継(オンデマンド配信)の両方を Web サイトで公開している 4 自治体のうち、栃木県、宇都宮市、那須塩原市の 3 自治体を対象とする。それぞれの自治体において、調査開始時に会議録、議会議中継の両データが入手可能であった最新の本会議における最初の一般質問 2 議員分を対象とする。対象とする自治体、議会開催日、質問方式、2 名の一般質問の合計時間を表 1 に示す。

発言者は、質問に登壇した 2 名の議員のほか、首長、特別職(副知事または副市長、教育長)、議長、部局長(栃木県 7 名、宇都宮市 2 名、那須塩原市 7 名)であった。

### 2.2 調査の方法

まず、それぞれの Web サイトに公開された議会議中継のオンデマンド配信から音声データを抽出した。この音声を取込みながら、整文後のデータである会議録のテキストを元にして、整文前のデータである反訳を作成する。会議録に存在しない発言(削除)および、発言には含まれない会議録中の記述(挿入)、発言と会議録が異なる部分(置換)をそれぞれ記録する作業を行った。作業には、Microsoft Word の変更履歴機能を利用し、追加・削除箇所が一目で分かるようにした(置換や語順の変更は追加と削除の組み合わせで表される)。この作業を、筆者を含む 2 名の作業者が相互チェックを行いながら実施した。

表 1: 対象とする本会議の概要

| 自治体 | 栃木県        | 宇都宮市       | 那須塩原市     |
|-----|------------|------------|-----------|
| 開催日 | 平成22年2月24日 | 平成22年6月15日 | 平成22年6月7日 |
| 方式  | 一問一答       | 一括質問       | 一問一答      |
| 時間長 | 2時間 31分    | 1時間 48分    | 2時間20分    |

### 3. 結果

整文実態の調査結果を、整文基準に照らし合わせた分類と、整文の量を表すレーベンシュタイン距離によって示す。

#### 3.1 整文基準ごとの例示

日本速記協会(1997)に基づいて、整文の結果を分類する。野村・鶴沼(1996)が整文の基準を19の項目に分類しているのに対し、日本速記協会(1997)は整文の作業を「削除」「訂正」「挿入」「改行」に分け、その手順を整文の精緻さの観点から4つのステップに分けて提示している。このため、どの程度精緻に整文を行ったかを判断しやすい。整文基準別に分類したの具体例を以下に示す。なお、「改行」に関する基準については本稿では取り扱わないこととした。例中の取り消し線は反訳から会議録を作成する際に削除されたと思われる部分を表し、囲み線は追加された部分を表す。また、当該基準で整文された部分には波下線を引く。

整文基準(日本速記協会 1997)に基づいて分類した  
3つの地方議会会議録の整文例

#### ● ステップ 1

① 無機能語、言いさし、ひとり言について削除する。

~~い~~当然、~~え~~適任者とお~~い~~いうことで~~え~~え~~え~~せ、選定をするということが~~あ~~あ~~ひ~~あ~~の~~の大事であります。で、~~ま~~ま、学区内を~~ま~~ま、~~あ~~あ優先というか、[那須塩原市議会]

問題に~~ま~~ま対応できるように、~~ま~~ま計画策定の~~ま~~ま基本的な考え方~~というものは~~変更しておりません。[栃木県議会]

② なまりは標準的な語句に置きかえる。

私なんかほとんど見ないで~~え~~え処理~~しちゃ~~してしま~~う~~うまうなんで、[那須塩原市議会]

#### ● ステップ 2

① 単純または明らかな言い間違い、読み間違い、言葉の誤用、助詞の誤用、同じ助詞の連続、言い直しなどについて整文する。

ご質問を申し上げますので、よろしくご回答のほどお願いをいたします。[栃木県議会]

発言通告に従い質問をしております。[宇都宮市議会]

特定の候補者への応援は、公職選挙法に抵触する可能性もあると思われ [宇都宮市議会]

総額九十二億~~円~~円余のすべての予算案を手にしたとき、政権交代を実感いたしました。[栃木県議会]

② 文脈上、意味のない口癖などは削除する。

従来、野球は雨が降ったら中止、野外でやるもの、~~こうい~~うふう~~に~~に~~な~~なっていたわけですが、[栃木県議会]

③ 引用と思われる部分は、原典を調査し、同一であれば原典通りの用字とし、かぎ括弧でくくる。

※該当なし

④ 発言の突然の転換で話が続かない場合などは2字ダッシュ(――)を用いて表記する

地域に~~ま~~ま任せる~~っつ~~っつ~~と~~という~~ま~~まで……地域の判断という答弁がありました中で [那須塩原市議会]

議長のルートも行くし、栃木県のルート――私どもにとっては県の行財政含めて、地方自治含めて [栃木県議会]

⑤ 読みやすさを考慮し、適切な箇所で行改行を施す。

※発言に対する整文ではないので、除外する。

#### ● ステップ 3

① 主語と述語の不一致など、言葉の照応関係が不適切な部分は整文する。

情報を共有できるかという~~う~~ところ~~が~~を一部、~~う~~ま、懸念として持っていたんですが [那須塩原市議会]

これらの活動は大きな反響を呼んでいるところであり、県民の関心の高さを~~が~~うかがえます。[栃木県議会]

② 言葉が倒置して、意味が把握しにくい場合や誤解が生ずるおそれがある場合は整文する。

非常に一方では~~非~~非常に簡単なようで難しい面もございます。[栃木県議会]

③ 言葉が脱落している場合や、省略され、意味不明または意味が把握しにくくなる場合などは、適切な語句を補正する。

国の予算が五千万~~円~~円つきまして [栃木県議会]

中学卒業までの子供一人~~あたり~~あたり月額一万三千元、子ども手当が支給されることとなりました。[栃木県議会]

④ 崩れた言い回しを整える。

自治会に加入して~~い~~ない~~い~~世帯も含まれているかと思えます。[那須塩原市議会]

クリアなく~~ち~~てはならないハードルはあるかと思いますが [那須塩原市議会]

これを減~~ら~~しておか、減らせば、~~も~~っとこの二十二億円は吹っ飛ん~~じ~~ゃう~~で~~しま~~う~~う話で [栃木県議会]

⑤ 重複している言葉は一方を削除する。

~~なかなか~~これを廃止をするのは~~なかなか~~難しいのではないかとように危惧しております。[栃木県議会]

本当に~~あ~~の、いろいろ熟慮~~し~~ながら~~考~~えて~~し~~ていただいて [宇都宮市議会]

⑥ 一つのセンテンスの中で同じような言い回しが繰り返された場合、冗長な言い回しの場合は、発言者の口調にも留意しつつ、一定の部分について整文する。

※すべて削除している例はステップ4の③にある。

⑦ 文章が切れず、1つの段落が長文となる場合、適切な箇所語尾を整え、必要に応じて改行を施す。

※観察されるが、本稿の範囲では除外する。

#### ● ステップ 4

① 議題に直接関係がない部分は削除する。

おはようございます。私は、自由民主党議員会の〇〇〇〇でございます。自由民主党議員会を代表して、知事、副知事並びに~~え~~部局長、~~お~~教育長に~~あ~~わせてご質問を申し上げますので… [栃木県議会]

- ② 発言の突然の変換で話が続かない場合でも2字ダッシュ(——)を用いず、語句を補正するか、語順を入れ替える。  
※該当なし

- ③ 同じような言い回しの繰り返し、冗長な言い回しの場合、ステップ 3-⑥よりさらに進み、すべて整文する。

意見を申し上げさせていただきたいというふうに思います。(…)私は、恥は誇りの裏返しだろうというふうに思っているのですよ(…)これを裏切ったときに恥だというふうに思いますし、(…)日本人特有の恥の文化だというふうに私は考えます。[栃木県議会] ※(…)は筆者により中略した

### 3.2 レーベンシュタイン距離

整文がどの程度行われているかをみるために、反訳と会議録のレーベンシュタイン距離(LD)<sup>1</sup>を求めた。LDの計算時に句読点や記号は機械的に除外した。また、整文の量を比較するために、会議録文字数に対するLDの値(LD比率)を算出した。反訳には「あー」「えー」などのフィラーが極めて多く観察された。フィラーの削除とそれ以外の整文を分けて考えるために、フィラーに相当する文字列<sup>2</sup>を反訳、会議録双方から機械的に除外したLD、LD比率を別に算出した。自治体ごとのこれらの値を表2に示す。

LDの総計は約12,000であり、反訳文字数と会議録文字数の差が約10,000字であることから、整文の大半は「削除」であるといえる。さらに、フィラーを除外したLDが6,375であったことから、整文のうち半数近くはフィラーの削除であることが分かる。挿入・置換をあわせても、整文の差異に会議録に追加された文字列は2,000字程度であった。

## 4. 考察

### 4.1 自治体間の整文の比較

表2より、フィラーを含めたLD比率は、宇都宮市<栃木県<那須塩原市の順に高く、フィラーを除いたLD比率は、宇都宮市<那須塩原市<栃木県の順に高いことが分かる。整文の量の観点から3つ自治体をについてそれぞれ考察する。

宇都宮市は他の2自治体と比べてLD比率が著しく低い値であった。これは一括質問方式をとっているためで

<sup>1</sup>レーベンシュタイン距離は、文字の削除、挿入、置換の回数に基づいて2つの文字列の差を計る尺度である。ここでは、削除、挿入、置換のコストはすべて1とした。整文には、句単位での訂正もあれば、助詞など一文字だけの挿入もあるので、レーベンシュタイン距離が整文の箇所数を直接的に表すわけではないが、整文によってどれだけ文字列が変わっているかが分かるため、一つの目安となると考えられる。なお、本稿では、DPマッチングに基づくアルゴリズムを用いてレーベンシュタイン距離の算出を機械的に行っている。

<sup>2</sup>松田(2010)の国会会議録の分析でもフィラーは一部の除外されている。本稿では「あ、」「い、」「う、」「え、」「お、」「あー」「いー」「うー」「えー」「おー」「ま、」「まー」「あー」「えーと」「そのー」「んー」と句末の語の引き延ばし「ー」をフィラーとして除外した。

表2: 各データの文字数とレーベンシュタイン距離

| 自治体    | 栃木県    | 宇都宮市   | 那須塩原市  | 総計      |       |
|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| 反訳文字数  | 41,445 | 31,623 | 45,479 | 118,547 |       |
| 会議録文字数 | 38,256 | 31,001 | 39,104 | 108,361 |       |
| LD     | 4,324  | 709    | 6,913  | 11,946  |       |
| LD比率   | 0.11   | 0.02   | 0.18   | 0.11    |       |
| 追加文字数  | 979    | 673    | 259    | 1,911   |       |
| フィラー   | LD     | 3,521  | 529    | 2,325   | 6,375 |
| 除外     | LD比率   | 0.09   | 0.02   | 0.06    | 0.06  |

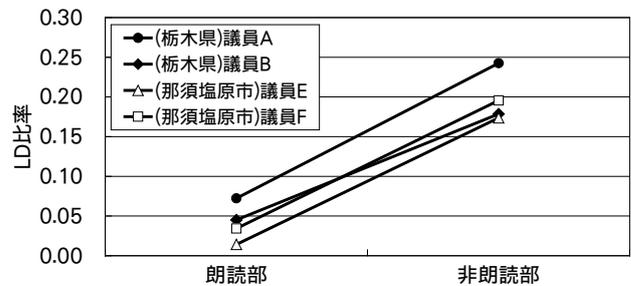


図1 朗読質問部とそれ以外の段落のLD比率

あると考える。一括質問方式では、質問者、答弁者ともに、事前に用意した原稿の朗読と思われる部分が長く続く。発言者はこの発言方式に慣れている可能性が高く、フィラーや言い直し(読み間違い)が他の自治体と比べて少ない。複雑な整文の例は存在せず、省略された単位の挿入、略称の正式名称化、助詞の修正などの整文は幾つか存在した。

栃木県議会の整文はフィラーを除いたLD比率が3自治体の中で最も高い。これは、原稿を朗読せずに発言している部分が多いことと、整文が高いステップまで行われている一すなわち、会議の内容に無関係な部分は積極的に削除され、より書き言葉に近い状態になるまで整文が行われている一ことの2つの理由があると考えられる。自由発話を高いステップまで整文していることから、1つの整文基準では説明できない複雑な整文も多く観察される。以下に例を示す。

**[反訳]**  
で、もう一つの特徴はですね、けっこうあの私びっくりしたんですけど、いろんなとこ、ほとんどに仮名が振ってあるんですよ、それがま一つの特徴かな。

**[会議録] (LD = 38)**  
もう一つは、これが特徴なのかなと、私びっくりしたのですが、ほとんどに仮名が振ってあるのです。

この一文には、複数の整文基準が適用されている。「あるんです」は「あるのです」に整文される一方、「私びっくりした」には助詞が挿入されず、口調を維持するために整文の適用を調節していることが観察される。

また、栃木県議会ではステップ4①の整文基準が適用され、挨拶や自己紹介が削除されている。宇都宮市、那須塩原市ではこれらは残されている。また、「次に二点目

として、高校の実質無償化等について伺います。」など文に及ぶ長さで発言に存在しない文字列が会議録に挿入されていることから、発言者による訂正、または、発言者の原稿との照らし合わせが行われていると考えられる。

那須塩原市議会の例では、フィラーが多く観察された。フィラーを含めたLDとフィラーを除いたLDを比べると、正文の約2/3がフィラーの削除に費やされたことが分かる。文体を整理するような正文は積極的には行われていない。例えば、同じような言い回しの多用では、栃木県議会がステップ4③を適用しているのに対し、那須塩原市議会はステップ3⑥すら適用しておらず、会議録に口語的な表現がより多く残されている。

#### 4.2 原稿朗読部分の整文

正文の頻度と発言者の原稿朗読の関係について考える。一問一答方式の議会では、「(A)あるテーマに関する質問」→「(B)質問への答弁」→「(C)同一テーマでの再質問」→「(D)再質問への答弁」の流れが繰り返される。この場合、(A)(B)の部分は事前に準備した原稿に基づく発言で、(C)(D)は原稿のない発言である可能性が高い。そこで、一問一答方式の議員の発言部分を内容から(A)の朗読部と(C)の非朗読部に分け、LD比率を比較した。これを図1に示す。4名の議員のLD比率を見ると、議員間で値は異なるものの、ほぼ一定の傾きを示しており、朗読部と非朗読部の整文量には一定の傾向が見られるといえる。

### 5. まとめ

栃木県を例に、規模の異なる3つの自治体の本会議会議録について、正文の実態を調査した。

正文の量に影響を与える要因には、質問の方式に加えて、フィラーの量、朗読部分の割合、正文の緻密さ(適用する正文ステップの高さ)などがあり、これを3つの自治体に当てはめて考えると、表3のようになる。

表3:自治体間の比較

|         | 栃木県  | 宇都宮市 | 那須塩原市 |
|---------|------|------|-------|
| 自治体の規模  | +    | ±    | -     |
| 質問の方式   | 一問一答 | 一括質問 | 一問一答  |
| フィラーの量  | ±    | -    | +     |
| 朗読部分の割合 | ±    | +    | ±     |
| 正文の緻密さ  | +    | ?    | -     |
| 正文の箇所   | +    | -    | +     |
| 削除の量    | ±    | -    | +     |
| 挿入の量    | +    | -    | ±     |
| 置換の量    | +    | -    | ±     |

宇都宮市については、質問方式の違いから単純に比較することはできないが、栃木県と那須塩原市を比べると、規模の大きい自治体では、正文にコストをかけることが可能であるため高いステップまで正文が行われ、規模の小さい自治体では、フィラーの削除など正文が多く、文

体の修正などの積極的な行われないう傾向がありそうである。

また、LD比率(正文の量)は発言者ごとに異なるものの、朗読部と非朗読部のLD比率の差は、同様の傾向を示しており、朗読と非朗読の切り替えで生じる非流暢性の成分の割合自体は発言者間で大きな違いはないことが示唆される。

複数の自治体の会議録を言語資料として用いた研究を行う場合には、分析の目的とする現象が正文の対象になる可能性があるを検討することはもちろんのこと、朗読部の割合、正文の緻密さなどに留意することが必要であると考えられる。今後、全国的な会議録の整備コーパスの整備を進め、正文の対象となる現象が扱われているかの分析を進める。

謝辞 本研究の一部は、科研費基盤研究(B)「地方議会会議録コーパスの構築とその学際的応用研究」(No. 22300086 研究代表者・木村泰知)の助成を受けたものである。

#### 参考文献

- 薄井良子(2005). 地方議会における反対意見表明の構造—会議録検索システムを使用して— 第16回社会言語学会研究大会, pp. 50-53
- 大山英久(2007). 地方議会の公開と会議録をめぐって レファレンス, No.677
- 木村泰知・渋木英潔・高丸圭一(2009). 地方議員と住民間の協働支援に向けたウェブの利用 選挙研究 25 (1), 100-118
- 高丸圭一・木村泰知(2010). 栃木県の地方議会会議録における正文についての基礎分析—本会議のウェブ配信と会議録との比較— 都市経済研究年報, 10, 74-86
- 日本速記協会(2007). 発言記録作成標準 日本速記協会
- 野村稔・鶴沼信二(1996). 地方議会実務講座 第3巻 ぎょうせい
- 松田謙次郎編(2010). 国会会議録を使った日本語研究 ひつじ書房
- 松田謙次郎・薄井良子・岡田裕子・南部智史(2005). 国会会議録はどれほど発言に忠実か?—整文化の実態を探る 第16回社会言語学会研究大会, pp. 267-275

連絡先 高丸圭一 〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り1丁目3番18号 宇都宮共和大学シティライフ学部 takamaru@kyowa-u.ac.jp